

佐高 SGH 高1 ファイル

高1 CTP(Critical Thinking Program) 日本語ディベート 最終回

2018年9月6日(木)の6時限目にオリエンテーションから始まった日本語ディベートですが、第1回から第5回の試合が行われ、ついに11月1日(木)に最終回をむかえました。生徒たちは1学期に習ったクリシン(critical thinking)を実践するため、5つの論題に取り組みました。実際に1人の生徒がディベートに参加するのは1回ですが、他の4回はフローシートにディベートのノートテイキングを行いながら論題について考えました。YesかNoを言いにくい問題に対して考えを深めることができたと思います。ディベートを行った後に、自分の考えを深めることが大切なことは言うまでもありません。

日本語ディベートの実施日及び論題

日にち	内容・論題	場所
9/6 (木)	①全体説明会・モデルディベート、グループ分け、テーマ、ゲーム予定日、対戦相手、サイドの等発表	旭城H
9/13 (木)	第1回ディベート 試合グループ [1vs2], [11vs12], [21vs22], [31vs32] 論題:「 小学校での英語教育の教科化はやめるべきだ 」	1年1~4組 教室
9/27 (木)	第2回ディベート 試合グループ [3vs4], [13vs14], [23vs24], [33vs34] 論題:「 毎週土曜に授業を行うべきだ 」(公開授業)	1年1~4組 教室
10/4 (木)	第3回ディベート 試合グループ [5vs6], [15vs16], [25vs26], [35vs36] 論題:「 内閣総理大臣は国民が直接選ぶべきだ 」	1年1~4組 教室
10/18 (木)	第4回ディベート 試合グループ [7vs8], [17vs18], [27vs28], [37vs38] 論題:「 遺伝子組み換え食品は禁止すべきだ 」	1年1~4組 教室
11/1 (木)	第5回ディベート 試合グループ [9vs10], [19vs20], [29vs30], [39vs40] 論題:「 日本は軍隊を持つべきだ 」	1年1~4組 教室

役割分担

	肯定側 (Affirmative side)	否定側 (Negative side)
1	コンスト(肯定側立論)	コンスト(否定側立論)
2	アタック(反駁)	アタック(反駁)
3	ディフェンス(再反駁)	ディフェンス(再反駁)
4	サマリー(総括)	サマリー(総括)



私たちのグループは『小学校での英語教育の教科化はやめるべきだ』というトピックの否定側の立場でディベートを行いました。ディベートをやる前は、私は肯定側の意見を持っていたのですが、否定側で立論などを考えていくうちに止める利点などを知ることができました。また、他のグループのディベートを見ているうちに様々な多様性を持った考え方を身に付けることができました。

1年1組 秋山 颯多郎

日本語ディベートを行って、論理的な思考や素早く発言する力などの大切さを学ぶことが出来ました。私は「内閣総理大臣は国民が直接選ぶべきだ」の否定の立論を行いました。事前によく調べて立論を発表したので自信があったのですが、根拠が薄い部分や矛盾点を肯定側に質問され、なかなか上手く答えることが出来ませんでした。今回のディベートをきっかけに、根拠や矛盾点をなくし臨機応変に対応できるようにしたいと思います。

1年4組 坂内 嘉偉

当日同じチームのメンバーが欠席だったため、急遽立論とサマリーの兼任をすることに挑戦しました。用意しておいた予想反駁が外れ、焦ったり、兼任はとても大変でしたが、新しいことに挑戦することができて楽しかったし、なによりも自分にとって良い経験になったと思います。ディベート全体を通しては、物事をいろいろな視点から考えることが大切だということ強く感じました。様々な議題を通して、たくさんの人の、自分にはない考え方を知ることができて、とても勉強になりました。

1年2組 橋本 梨花

私たちの班は「小学校での英語教育の教科化はやめるべきだ」でした。わたしたちは肯定派でたくさんの資料を集めたりして本番に臨みました。トップバッターだったのですが、班の皆と助け合い、相手もとても筋の通った回答をしてくるようなとても強いチームでしたが、いい勝負をすることが出来ました。この経験を今後何らかの機会に活かしていきたいです。

1年3組 小川 颯太

賛成か反対簡単にどちらかに決めるのはとても難しく、どちらの意見も納得する部分があったりして聞いていてとても勉強になりました。データなどを引用しているととても説得力があり、分かりやすかったです。普段は考えないようなことについてとも考えることができてとてもいい機会になりました。これからもこのディベートでやったことを学校生活などに活かしていきたいと思いました。

1年3組 三ツ森 柚夏

班のみんなで協力してできたと思うし、いろいろみんなが調べてきてくれた。自分も協力できたと思えた！私は一番初めだったけど、だんだんと題が難しくなるにつれて、他の班の人たちもレベルが上がってきた。たくさん調べてあったり、難しい言葉だったりディベートって感じがして、いい経験になりました！

1年4組 遠藤 夢

ディベートを聞く段階でわかったことは、人それぞれ、違う意見を持っていることがわかり、自分の考えていた論と別だったりして、同じ学校や同じ地区、同じ学年というように同じ環境にいるからといって、決して全員が同じ意見であるとは限らないということがわかった。準備する段階では、論について調べていると、様々な情報、様々な立場からの意見があるということがわかった。そして最後に、実際にディベートをしてわかったことは、準備で得た情報を全て話す、時間内に話せないほどあるということだった。次回やるときは、要点をまとめて、伝えたいことが聞き手や相手、ジャッジに伝わるようにしたい。

1年2組 前川 大空